

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業点検・評価調書

5-II-2

5-II-2

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	関連伝統文化の保存継承支援
節	II. 伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	2 関連伝統文化保存支援	事業主体	佐渡市社会教育課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡連合商工会、佐渡文化財団
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○佐渡金銀山関連伝統文化の保存支援により、地域住民の保存意識の向上を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○佐渡金銀山に関連する伝統文化を、佐渡金銀山とともに広報誌等の媒体で紹介することにより、伝統文化保存継承活動について支援を行う。</p>		
R元事業計画と実績	<p>【元年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●前年度に引き続き、伝統文化継承団体への補助を行う。 ●今年度開催される「第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭」を契機とした伝統文化の普及啓発の取り組みを文化財団と連携しながら行う。 <p>【元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伝統芸能継承団体への補助 今年度は実施団体が無かった為補助は行っていない。 ●今年度開催された「第34回国民文化祭、第19回全国障害者芸術・文化祭」を契機とした伝統文化の普及啓発の取り組みとして、以下に対して補助を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ようま芸能絵巻(佐渡文化財団主催)」(於佐州おーやり館) イベント実績: 11月2日(土)、9日(土)、16日(土)、23日(土)全4回 参加者64名、出演団体9団体 公演を通して、演者の芸能活動に対する意欲増進が図られた。 ・「佐渡・能楽の祭典」(市主催)、特別公演「世阿弥発見の旅」(県主催) イベント実績: 10月13日(日)14日(月・祝) (於金井能楽堂) 13日: 来場者100名、出演団体5団体 14日: 来場者320名、出演団体16団体 ・「佐渡鈍能茶会2019」(於佐渡奉行所跡) イベント実績: 10月26日(土)27日(日) 来場者220名 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■予算に限りがあるが、今後も多くの伝統文化団体に補助支援していく必要がある。 ■イベント内容についても佐渡金銀山に関連する伝統文化を位置づけて、飽きの来ない変化あるイベントづくりが必要と考える。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■伝統継承団体への補助を行う。 ■「ようま芸能絵巻」を開催したことにより、来場者からのアンケート結果からリピータの要素が高いことや、地域住民の伝統芸能に対する保存意識が高まることから、引き続き実施を検討する。 ■「佐渡鈍能茶会2020」についても引き続き開催し、佐渡金銀山の広報活動の一つとなるよう全国に情報発信していく。 		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) C]</p> <p>◇「ようま芸能絵巻」を開催したことにより、来場者からのアンケート結果からリピータの要素が高いことや、地域住民の伝統芸能に対する保存意識が高まることから、引き続き実施を検討する。 また、佐渡能楽の祭典については、小・中学校からの参加があり、保存・継承に寄与できたものと認識する。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。